

事業活動温暖化対策計画に関する事項

再 新規 再 変更

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	熊本市中央区水前寺6丁目2番45号				
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	熊本市上下水道局 熊本市上下水道事業管理者				
事業概要	電気・ガス・熱供給・水道業		水道業		
該当する事業者要件	再	熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	19,061	kl
	再	熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数		台
	再	特定事業者以外の事業者			
計画期間	2020年度～2024年度				
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針	熊本市上下水道事業経営基本計画に基づき、省エネルギー機器の計画的導入及び自然エネルギーの活用を推進し、エネルギー消費量の削減を行う。 熊本市役所グリーン計画に基づき資源・エネルギーの節約や再利用を進め、環境負荷の低減を図る。				
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制	熊本市上下水道局エネルギー管理委員会を設置し、エネルギー使用の合理化を推進するとともに温室効果ガス排出の抑制を図る。				
	環境マネジメントシステム名称		適用範囲	取得年月日	
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容	水道事業:施設整備に伴う高圧変圧器の更新(2020年～2024年)、配水ポンプの更新(2023年～2024年)、取水井インバータ制御の導入(2021年～2022年) 下水道事業:東部浄化センターA系反応タンク他設備更新・導入(2019年～2023年)、南部浄化センター1系反応タンク設備更新・導入(2019年～2021年) 共通:冷暖房温度設定の適正化、市環境工場再生エネルギー電力の購入活用				
温室効果ガスの排出の状況及び抑制の量に係る目標	温室効果ガス算定排出量	基準年度の実績(A)	前年度の実績	目標年度(B)	増減率
		(2019)年度	()年度	(2024)年度	((B-A)/A)
	原単位温室効果ガス算定排出量	原単位	原単位	原単位	増減率
		当たり	当たり	当たり	((D-C)/C)
	原単位の考え方				
特記事項					

- 備考
- のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。
 - 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
 - 「基準年度」とは、原則、計画期間の前年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。この場合、計画期間の前年度の実績を「前年度の実績」欄に記入してください。
「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
 - 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とします。
 - 原単位による目標を設定する場合は、「原単位温室効果ガス算定排出量」欄を記入してください。
「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方を記入してください。
 - 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。